

登録コード	A4B43200	開講年度	2026				
授業科目	食料生産システム科学実習				担当教員	阿久津 雅子 他	
英文授業名	Practice for Food Production System I					今井 裕理子	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・3時限 木曜・4時限 金曜・3時限 金曜・4時限	対象学生	2年生
講義室	農学部農場		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考	教員内線電話：2601（阿久津），2509（今井）
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 5 Aカリ						
	【2025年度以降カリキュラム対象】2.【専門性】 農学分野の専門的な学識と技術が身についている。				野菜，果樹，水稻，花卉等に関する基礎的な栽培・管理および家畜や飼料生産に関する基礎的な管理ができるようになる		
	【2025年度以降カリキュラム対象】3.【情報分析・発信力】論理的な思考力のもと，多様な情報を収集・分析・活用できるとともに，効果的に伝えることができる。				野菜，果樹，水稻，花卉等に関する基礎的な栽培・管理および家畜や飼料生産に関する基礎的な管理ができるようになる		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	1．水稻，畑作物，果樹，花卉および野菜を教材として，農作物の栽培・管理を体験する 2．農作物の加工・利用を体験する 3．家畜，飼料作物，草地に関する管理を体験する 4．トラクタ等の農業機械について，実際の使用法を体験する 5．実際の農業現場について理解を深める 6．共同作業などを通じて周囲への気配りを養う 上記1-4について，体験することを標準的な達成レベルとする 上記5-6について理解・実践できることを理想的な達成レベルとする						
(5)授業計画	第1回（4/9,10） 動物実験講習会，農場見学とガイダンス，農作業安全，野菜類の定植 第2回（4/16,17） 野菜類の定植・管理，水稻育苗 第3回（4/23,24） 刈払い機・除草機の操作 第4回（5/7,8） ヒツジの剪毛，畜舎・放牧地の管理 第5回（5/14,15） 飼料作物の管理（飼料用トウモロコシ播種） バス使用 第6回（5/21,22） 田植え 第7回（5/28,29） シクラメンの鉢替，トマト・サトイモ・サツマイモの定植 第8回（6/4,5） ニワトリの飼養準備，鶏舎整備 第9回（6/11,12） 農家見学 バス使用 第10回（6/18,19） 水田の管理，野菜の管理（トマト） 第11回（6/25,26） 採草地・放牧地の管理（雑草除去） 第12回（7/2,3） トラクタの運転，野菜の管理（トマト） 第13回（7/9,10） トラクタ作業（耕耘），飼料作物の管理（ソルガムの施肥・除草） 第14回（7/16,17） 野菜・果樹の管理（ジャガイモ・トマト） 第15回（7/23,24） ニワトリの解体						
(6)自主学習の指針	実習で扱った作物や動物等に関連する書籍を読んでみることを勧める						
(7)成績評価の基準	実習中の態度(積極性，協調性，作業精度等)で評価						
(8)事前事後学習の内容	配布資料を用い実習で扱う農作物や家畜および農作業の内容に関する事前・事後学習を，それぞれ1時間程度行って下さい 特に，技術用語についてその内容を学習して下さい						
(9)テストやレポートの予定	実習の記録（内容および感想），レポートを期末に提出						
(10)成績評価の方法	実習態度、達成度評価、レポートで総合的に評価します						
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問は適宜受け付けます AFC構内ステーション農場研究棟 蔬菜園芸学研究室 阿久津：akutsu@shinshu-u.ac.jp 草地畜産学研究室 今井（裕）：yuriko_imai@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	・ 休講はしません ・ 特別な指示のないかぎり，農場の作業室へ集合して下さい ・ 実習方法や注意事項を徹底させるため，遅刻しないよう注意して下さい ・ 安全のため，作業衣と長靴を着用するほか手袋と帽子を用意して下さい ・ 体調不良な者は速やかに申し出て下さい						

(12)履修上の注意	・天候と実習対象作物の生育状況や動物の状態などにより，予定を変更することがあります
【教科書】	参考資料を配布します
【参考書】	特に指定しません